

社会福祉法人 日本点字図書館

感謝録

2019 年6月

数多くのご支援に感謝いたします。



公益財団法人石橋財団様からの助成で、
点字の父、ルイ・ブライユの生家の触察模
型を製作し、当館附属のふれる博物館で公
開しました。

感謝の言葉



社会福祉法人 日本点字図書館

理事長 田中 徹二

今年も皆様の温かいご支援に対して、この感謝録をお届けできますことは、私にとりまして望外の喜びでございます。感謝録は、多くの皆様から当館をご支援いただいていることの「証」とも申せます。心から感謝申し上げます。

すでに令和元年に入っておりますが、令和2年11月に、当館は創立80周年になります。昭和、平成、令和と3代にわたって運営してきましたこととなりますが、大別しますと、昭和と平成とでは、当館の事業の質に大きな差がありました。

その要因はパソコンの出現です。点字図書、音声図書の製作から貸出体制、事務管理等すべてにパソコンが入り込んできました。また、この10年間では、サピエというインターネット・ライブラリーが実用化し、パソコンの操作ができる利用者は、この図書館から自分で本を選び、利用できるようになりました。昔のように、電話をかけ、読みたい本を郵送してもらわなくてよくなったのです。

ただ、このシステムを維持管理していくのはたいへんです。幸い、基本的には厚労省の助成金を得ていますが、皆様ご存知のように、パソコンやサーバなどには耐用年数があり、機器類の更新が常につきまといます。発展してきた経緯の中で、どうしても自己資金で対応しなければならないものもあり、財政面で苦慮することもしばしばです。

また、昨今の働き方改革で、当法人におきましても、利用者サービスの充実を図るとともに、スタッフが心身ともに健康に働いてもらうための配慮をしていくことにも、負担を強いられております。

このような状況をご理解いただき、例年にましてのご協力、ご鞭撻を切にお願い申し上げます。

2018年度事業のあらまし

館長 長岡 英司



2018年度の当館は、施設や設備の大規模な改修に取り組みました。本館と別館がともに建設から20年余を経過して不具合が見られるようになったことから、年度後半に改修工事を実施しました。また、図書の製作や貸し出しなどの業務に使用している館内オンラインシステムのサーバコンピュータを、老朽機から新型機に置き換えました。これらのために、公開行事の取りやめや臨時休館などの影響がありましたが、改修によって建物の安全性や業務用基幹システムの信頼性を確保できました。

情報提供事業の利用サービスでは、図書等の利用の拡大を図るために推進した「企画テーマに沿って選んだ図書のデジータをまとめて提供するサービス」が好評だったほか、用具販売や自立支援の部門と連携して行った、中途視覚障害の皆様へ読書の可能性を理解していただく取り組みで、確かな成果を見ました。一方、点字と各種デジータ形式の図書等の製作は、概ね予定通り行うことができました。3年間にわたり外部の人材や他施設の協力をいただいて実施した、公立高校で学ぶ二人の視覚障害生徒のために教科書等を点訳する事業が年度末で終了しましたが、対象生徒がともに超難関大学に入学するという好結果を得ました。録音製作では、すべてのデジータ種別のコンテンツ製作を手掛けるとともに、9月に録音図書事業が開始から60年の節目を迎えたことから、11月に記念行事を公開で実施して、事業の発展の経過を報告しました。

前の年度に始めた2つの事業は、順調に成長したといえます。その1つ、自立支援事業は、生活支援部・自立支援課の新設で運営の基盤が整いました。「ふれる博物館」事業は、3回の企画展がいずれも好評をいただき、予想を上回る多くの来館者で賑わいました。

2018年度はほかに、川崎市視覚障害者情報文化センターの第二期指定管理者に当館が再任されるという、喜ばしい出来事もありました。それを含め、事業を順調に進めることができましたのは、皆様のご支援のおかげです。ここに改めて深く感謝申し上げます。各事業の実績につきましては、次ページ以降をご参照ください。

2018 年度 事業の実績

図書情報サービス

利用登録者数：12,677 人

新規収蔵図書数：点字図書 701 タイトル、録音図書 800 タイトル

蔵書総数：点字図書 21,536 タイトル (80,659 冊)、録音図書 17,277 タイトル

貸出数：点字図書 7,264 タイトル (25,388 冊)、録音図書 107,317 タイトル

ダウンロード提供数：点字図書 1,321 タイトル、録音図書 85,048 タイトル

専門対面リーディングサービス利用実績：延べ 568 人、1,137 時間

視覚障害者対象の IT 教室開催実績：延べ 95 人、189 回

レファレンス：視覚障害者図書情報提供 82,832 件

図書製作事業

製作数：点字図書 184 タイトル (786 冊)、音声デジター 449 タイトル (3,277 時間)

テキストデジター図書 598 タイトル、マルチメディアデジター図書 13 タイトル
(42 時間)

月刊録音雑誌「にってんデジターマガジン」を 76,287 枚配布

ボランティア数：点訳ボランティア 65 名、朗読ボランティア 54 名

デジター編集ボランティア 11 名、テキストデジター編集ボランティア 57 名

録音図書ネットワーク製作システム参加ボランティア 80 名

クラウドソーシング型図書校正参加ボランティア 557 名

視覚障害者用具の販売あつ旋

年間取扱点数：881 種、89,658 点

新規取扱商品：「セガワケーン」、「キザキケーン」、「コンパクト 6HD (拡大読書器)」

「点字にチャレンジ！バラエティセット」、「点訳のてびき」

厚生労働省委託・補助事業

〔視覚障害者用図書事業〕

点字図書：30 タイトル (6,450 冊) 製作、延べ 422 タイトル (1,479 冊) 貸出

録音図書：音声デジター図書 15 タイトル、マルチメディアデジター図書

6 タイトル製作、延べ 850 タイトル貸出

〔盲人用具の販売あつ旋〕

盲人用具 14 種、20,678 点

〔サピエ図書館の運営 (視覚障害者用図書情報等ネットワーク運営事業)〕

会員数：個人会員 16,942 人、施設会員 382 施設

提供数：

- ・点字データ 209,858 タイトル
- ・音声デジータ 88,526 タイトル
- ・テキストデジータ 7,155 タイトル
- ・マルチメディアデジータ 240 タイトル
- ・目録 1,104,014 タイトル



点字図書を郵送用のケースに入れる様子

利用数：

- ・点字データ 延べ 630,505 タイトル
- ・音声デジータ 延べ 3,178,853 タイトル
- ・テキストデジータ 延べ 254,493 タイトル
- ・マルチメディアデジータ 延べ 5,993 タイトル
- ・目録検索 3,226,225 件
- ・オンラインリクエスト 317,399 件

その他、全国の点字・公共図書館等に 82,832 件の情報を提供しました。

自立支援事業

相談支援：基本相談 208 件、計画相談 106 件

自立訓練（機能訓練）：実人数 22 人、延べ回数 785 回

医療機関に出向いての相談会：12 回

点字教室開催実績：延べ 800 人、249 回

東京都委託事業

〔点字図書の製作・貸出〕

・点字図書：44 タイトル（328 冊）製作、延べ 268 タイトル（1,148 冊）貸出

〔声の図書の製作・貸出〕

・声の図書：70 タイトル（350 枚）製作、延べ 3,526 タイトル（3,550 枚）貸出

〔視覚障害者用図書レファレンスサービス〕

・都内の視覚障害者、施設・団体に対し 38,244 件の情報提供

〔希望図書の製作〕

・個人の希望する点字図書：51 人・89 件、声の図書：131 人・187 件

海外支援事業

■池田輝子基金によりマレーシアにおいて第 15 回池田輝子 ICT 奨学金事業を実施しました。18 名参加（中級 10 名、上級 8 名）

■一般社団法人霞会館の助成によりトンガ王国においてコンピュータ点字製作技術指導講習会を実施しました。9 名参加

本部事業

[ふれる博物館]

- ・ 第1回企画展「触れて知るレオナルド・ダ・ヴィンチ」
4月11日(水)～7月14日(土) 来場者 372名
- ・ 第2回企画展「宇宙をさわる」(協力/国立天文台)
8月17日(金)～12月22日(土) 来場者 545名
- ・ 第3回企画展「ルイ・ブライユの生家と指で巡る東京名所観光」
(協賛/株式会社はとバス)
1月25日(金)～5月25日(土) まで実施 来場者 377名 (3月末まで)

[視覚障害者関係墨字資料(奥村文庫)]

新規収蔵 1,719点、利用 645件

チャリティ公演

[チャリティコンサート]

第16回本間一夫記念日本点字図書館チャリティコンサート

「大江馨 ヴァイオリンリサイタル ～チェコの哀愁とドイツのロマン～」

11月1日(木) 東京文化会館小ホール 来場者 400名

[チャリティ映画会]

秋の映画会 『5パーセントの奇跡』 9月28日(金) なかのZERO大ホール
来場者 441名

春の映画会 『ワンダー 君は太陽』 3月20日(水) なかのZERO大ホール
来場者 250名

川崎市視覚障害者情報文化センター(設置:川崎市/指定管理事業者:日本点字図書館)

- ・ 利用登録者数: 479名、278施設
- ・ 蔵書数: 点字図書 3,075タイトル(11,180冊)、録音図書 5,640タイトル
- ・ 貸出数: 点字図書 297タイトル、録音図書 9,026タイトル
- ・ ダウンロード提供数: 録音図書 2,221タイトル
- ・ 図書製作: 点字図書 50タイトル、音声デイジー 100タイトル、テキストデイジー図書 6タイトル、シネマ・デイジー/音声ガイド 21タイトル
- ・ 訓練事業: 生活訓練 1名、歩行訓練 22名、パソコン訓練 9名、点字訓練 4名
- ・ 用具の点字と販売紹介: 展示点数 290点、販売紹介点数 1,169点
- ・ イベントの開催: 音声解説付DVD体験上映会、れきおんクラブ、ヨガ体験、コンサート、読書会、センターまつり、他

新規事業「ふれる博物館」について

視覚障害者に、点字による情報、録音物による情報だけでは伝えきれないものを、立体物を触ってもらうことで伝える「ふれる博物館」を、2018年4月、本館から徒歩10分ほどのところにある、池田輝子様ご寄贈のマンションの一室でオープンいたしました。事務エリアも含め約60㎡、週3日開館の小さな博物館は、西早稲田にあります「手と目でみる教材ライブラリー」の全面的なご協力により実現したもので、同ライブラリーが所蔵する模型類と当館が保存している視覚障害者生活用具等を中心に企画展を開催します。

一昨年試行的に開始し、日本の城の模型十数点を展示しましたが、このたび正式に開館し、第1回企画展は4月から7月まで、「触れて知るレオナルド・ダ・ヴィンチ」と題し、名作「最後の晩餐」、「モナ・リザ」の石膏によるレリーフ、レオナルドが素描で描き残した数々の発明品のプラスチック模型を展示し、視覚障害者、付添、教育・福祉関係者、博物館・美術館関係者など、42日間で372人の来場がありました。

8月から12月までは第2回企画展「宇宙をさわる」を国立天文台のご協力により開催。54日間で545人の来場者がいらっしゃいました。

この「ふれる博物館」を開館するにあたり、象徴的な模型を作りたいという願いを、石橋財団様をご理解くださり、点字考案者ルイ・ブライユの生家（表紙）と日本点字図書館（写真）の触察模型の製作費用をご助成くださいました。12月末に完成したことから、1月より第3回企画展「ルイ・ブライユの生家と指で巡る東京名所観光」を開催しました。ルイ・ブライユの生家と日本点字図書館の模型は各フロアを指先でさわられるような工夫がされており、視覚障害者にはたいへん好評をいただきました。都内の有名建築物も展示する企画でしたので、株式会社はとバス様の協賛で、バスガイドさんの解説録音をいただきました。3月末まで、25日間、377人が来場しました。

日本点字図書館附属池田輝子記念
「ふれる博物館」

新宿区高田馬場2-3-14 アイ・ブライビル2階
090-3247-7290（開館日のみ）

開館：毎週水曜日・金曜日・土曜日 10時～16時
（祝休日閉館 企画展準備等で閉館時期有）



日本点字図書館の75分の1の触察模型。フロアごとにはずせませす

声のライブラリー発足 60 年記念

当館の録音図書製作事業は、昨年 60 周年を迎えました。

開始のきっかけとなったのは、盲学生からの熱い要望と失明した傷痍軍人達の存在でした。

昭和 33 年 9 月 23 日、資源が乏しい状況下で“声のライブラリー”が誕生し、以後、団体、企業、そして沢山の奉仕者の方々の多大なるご尽力により発展を遂げていきました。

様々な労苦を伴った録音作業は、20 年程前からデジタル方式に転換、その後高性能な録音ソフトの開発・活用により、大幅に効率と質を上げることができるようになりました。

また 2011 年からは電子書籍の製作・提供も始めました。再生機等で読み上げができるほか、パソコン等で文字の確認も可能なため、年々読者の数が増えています。

現在、読者の範囲は視覚障害者のほか、読み書きの困難な学習障害者、ページをめくることができない肢体不自由者等、印刷物をそのままの状態では利用できない方々へも広がっています。

今後も、当館の図書を必要とされる方々が快適に読書できるよう製作に励んでまいります。

日点みんなの集い～声のライブラリー発足 60 年記念～

11 月 10 日（土曜日）13 時～16 時 当館多目的室

- ・講演「録音雑誌第 1 号製作の思い出」講演：鶴岡巍氏 / 聞き手：石橋迪子氏
- ・お祝いメッセージ（録音）黒柳徹子氏
- ・朗読「羅生門」：若山弦蔵氏
- ・講演「日点における録音図書製作方法の変遷（オープンリールから現在のびぶりお工房システム）」前図書製作部長 上野目玲子

◆◆ 池田輝子基金事業のご報告 ◆◆

高田馬場の篤志家・池田輝子氏より寄贈されたマンション 2 棟の家賃収入をもとに、録音図書を製作する池田文庫事業とアジアの若い視覚障害者の自立支援のためのパソコン技術を指導する池田輝子 ICT 奨学金事業を実施しました。

「点字にチャレンジ!マンガでおぼえる点字のしくみ」製作しました

最近の小学生は、点字への関心が高いという話をよく耳にします。ポケットモンスターのゲームの謎解き要素として使われたり、国語の教科書に点字についての文章が載っていたりと、身近に体験できる機会が多いことあるのでしょうか。子ども向け検索サイトでは、「点字」という言葉が年間ベストテン上位にくるほどだそうです。そうしたことを聞くにつけ、児童向けの点字学習教材を充実させる必要性を感じていました。

この課題に対し、2018年度、一般財団法人日本児童教育振興財団様のご支援により、マンガという親しみやすい形式での点字学習教材を作ることができました。製作を手がけてくださったのは、マンガ制作に実績のある株式会社トレンド・プロ社です。同社には、過去にも法人創立者・本間一夫の伝記冊子を作っていたいただきましたが、当時から私たちの事業に理解を示していただき、いろいろと便宜をはかっていただいています。

マンガのストーリーは、小学4年生の男の子・新堂瞬くんのクラスに、今川あかねちゃんという女の子が転校してきたことから始まります。あかねちゃんは、白い杖を持ち、目が不自由です。ある日、廊下を急いでいた瞬くんは、あかねちゃんにぶつかってしまいます。あかねちゃんに、あやまりたい瞬くんが、図書館で目の見えない人についての本を調べていると、突然、妖精が現れます。この妖精は、瞬くんに点字の読み方、書き方を教えてくれて、点字の手紙を書くことを助けてくれるのでした。ストーリーの中には、手引きの方法を入れるなど、見えない人たちを助けることを考えてもらえるような工夫もしています。

このマンガ冊子は、当館のホームページで公開し、パソコンやスマホで自由に閲覧できます。また、冊子版を全国の市町村教育委員会にお送りし、授業等で活用していただけることをご案内しました。今後も多くの人に活用いただきたいと思います。



ご寄付へのお礼とご報告

2018年度は、皆様から以下の通りご厚志を賜りました。

総件数 8,456件 (前年度 8,838件)
 総額 123,754,649円 (前年度 105,088,214円)

その内訳をご報告いたします。

3,000円未満	687件	10万円以上 50万円未満	103件
3,000円以上 5,000円未満	2,862件	50万円以上 100万円未満	9件
5,000円以上 1万円未満	2,236件	100万円以上	7件
1万円以上 10万円未満	2,552件	合 計	8,456件

2018年度も、篤志ある皆様のご協力により、多額のご寄付を頂戴することができました。心より感謝申し上げます。

ご厚志をお寄せくださいました皆様、本当にありがとうございました。

このうち、2件はご遺贈として頂戴いたしました。謹んで故人のご冥福をお祈り申し上げますとともに、ご遺族ならびに関係者の皆様に厚く御礼申し上げます。

◆◆ チケット購入にご協力いただいた主な企業・団体のお名前 ◆◆

当館が主催したチャリティ映画会・チャリティコンサートのチケット購入にご協力いただいた主な企業・団体のお名前です。38団体の皆様から、合計897,000円のご協力を頂戴しました。紙面の都合上、ご協力いただきました企業・団体すべてを掲載できず、申し訳ございません。全団体は、当館ホームページにてご覧いただけます。

団 体 名	(五十音順)
N T T東京福祉文化事業団「ゆいの会」	世界救世教 いづのめ教団 新宿教会
大橋洋紙店	公益財団法人 鉄道弘済会
オリンピア眼科病院	天理教東京教区まこと会
オルフェウスコンサルティング株式会社	東京Iゾントクラブ
株式会社偕成社	株式会社日清製粉グループ本社
学書院	株式会社日本財託
ケージーエス株式会社	公益財団法人 日本テレビ小鳩文化事業団
国立職業リハビリテーションセンター	社会福祉法人ぶどうの木ロゴス点字図書館
株式会社サン・データセンター	公益財団法人毎日新聞東京社会事業団
株式会社小学館	有限会社菱和興産
株式会社 西武洋紙店	ロクシタンジャポソ株式会社

◆◆ ご寄付いただいた主な企業・団体 ◆◆

当館にご寄付いただきました主な企業・団体のお名前です。574 団体の皆様から、合計 11,553,495 円のご協力を頂戴しました。紙面の都合上、ご協力いただきました企業・団体すべてを掲載できず、申し訳ございません。全団体は、当館ホームページにてご覧いただけます。

団 体 名		(五十音順)
イオンクレジットサービス株式会社	東京 I ゾンタクラブ	
医歯薬出版株式会社	ニシフミート株式会社	
茨城工業高等専門学校学生図書委員会	株式会社ニデック	
株式会社エルエッチエス	東京都立農芸高等学校	
朗読ボランティア「樞の実会」	P F U 労働組合	
医療法人春日上原眼科医院	株式会社日立ビルシステム	
神奈川県眼科医会	医療法人社団雄飛会平岡眼科医院	
観音寺	有限会社 F o r Y o u	
サークルしおさい	一般財団法人報国積善会	
サイズエリア株式会社	三菱電機株式会社	
地福寺	真宗大谷派開明寺	
宗教法人真福寺	柳川特許事務所	
株式会社清和産業	有限会社ヤマニ	
点訳グループ東公「せせらぎ」	理数専門点訳会シグマ	
一般社団法人全国銀行協会	リネットジャパングループ株式会社	
一般社団法人全国信用組合中央協会	龍泉寺	
全国友の会中央部	有限会社菱和興産	
株式会社デジタルアテンダント		

◆◆ 企業・団体のボランティアのご協力 ◆◆

C S R 活動の一環として、お昼休み等を利用したボランティア活動で以下の企業の皆様には用具事業課で使用する点字シールや、再生紙を利用した封筒製作のご協力をいただきました。心より感謝申し上げます。

株式会社アートコーヒー、東京海上日動安心 110 番株式会社、三菱鉦石輸送株式会社、三菱商事株式会社、三菱食品株式会社。

◆◆ 募金箱設置にご協力いただいた主な企業・団体 ◆◆

32 団体の皆様から、合計 575,166 円のご協力を頂戴いたしました。

団 体 名		(五十音順)
朝日信用金庫	林歯科医院	
オリンピック眼科病院	有限会社酒舗まさるや	
自家焙煎 珈琲舎ロッセ	医療法人湘山会眼科三宅病院	
ザ ロイヤルパークホテル東京汐留	横浜ロイヤルパークホテル	
ハイアットリージェンシー東京	吉川眼科クリニック	

❖❖ 企業や団体からのご助成 ❖❖

企業・団体名	金額 (円)	助 成 内 容
社会福祉法人朝日新聞厚生文化事業団	100,000	第3回全国視覚障害者囲碁大会開催費
イオンリテール株式会社	71,000	「イオン 幸せの黄色いレシートキャンペーン」による助成
公益財団法人石橋財団	3,000,000	点字創案者ルイ・ブライユの生家及び日本点字図書館の視覚障害者向け触察建築模型の製作事業
株式会社岩波書店	240,000	岩波新書等の録音版の製作・貸出
社会福祉法人NHK厚生文化事業団	100,000	第3回全国視覚障害者囲碁大会開催費
一般財団法人NHKサービスセンター	2,000,000	点字版「NHK ウイークリーガイド」の製作・頒布
一般社団法人霞会館	1,000,000	第24回アジア盲人図書館協力事業の実施(於 トンガ王国)
公益信託久保記念点字図書援助基金	382,320	ICT 訓練に必要な機器(ノートパソコン、iPhone、iPad、外付けキーボード)の購入費
埼玉県民共済生活協同組合	5,000,000	点字図書と録音図書の製作・貸出(視覚障害者の情報収集支援事業)
公益財団法人JKA	2,655,000	月刊録音雑誌「医学研究」及び「ホームライフ」の製作・配布(障害のある人が幸せに暮らせる社会を創る活動補助事業)
全国ラジオチャリティミュージックソン実行委員会	1,000,000	録音図書デジター編集作業
全国労働者共済生活協同組合連合会	1,000,000	点字図書と録音図書の製作・貸出(視覚障害者の情報収集支援事業)
公益財団法人鉄道弘済会	1,800,000	録音雑誌「ブックウェーブ」を製作・配布
株式会社トーハン	299,953	点字図書と録音図書を製作するための原本及び資料の提供
一般財団法人 日本児童教育振興財団	1,500,000	児童向け点字学習マンガ冊子の製作及び配付
一般財団法人日本宝くじ協会	2,500,000	点字図書と録音図書の製作・貸出
公益財団法人パブリックリソース財団	35,700	点字・録音図書製作のための原本購入費
公益財団法人原田積善会	395,000	ICT 訓練・余暇活動・運動の為の機器購入
公益財団法人一ツ橋綜合財団	5,000,000	録音図書「一ツ橋文庫」の製作・貸出
		マルチメディアデジター教材製作システム(ChattyInfty Online)の整備
		テキストデジター図書の製作・提供
株式会社文藝春秋	960,000	録音雑誌「文藝春秋」の製作・配布
公益財団法人毎日新聞東京社会事業団	100,000	第3回全国視覚障害者囲碁大会開催費
三菱商事株式会社	450,000	中途視覚障害者の歩行訓練用として白杖を全国のリハビリテーション施設へ配布
社会福祉法人読売光と愛の事業団	1,400,000	専門対面リーディングサービス事業の実施
		ロービジョンサービス事業の実施 視覚障害者自立支援機器の購入

❖❖ ワンブック・プレゼント運動へのご支援 ❖❖

多くの企業・団体と個人の皆様からワンブック・プレゼント運動にご支援いただきました。この運動は、一口10万円単位のご寄付を点字図書・録音図書の製作費用に充てさせていただくものです。完成した図書には、ご寄付くださった企業・団体・個人の方のお名前やメッセージなどを表示して、利用される読者の方に皆様のご支援の一端をお伝えいたします。

点 字 図 書		録 音 図 書	
協力者	口数	協力者	口数
株式会社イオン銀行	21	株式会社イオン銀行	22
倉持生二	10	倉持生二	10
匿名	10	あいおいニッセイ同和損害保険株式会社	5
共同印刷株式会社	3	はんだこどもクリニック	5
大竹玉枝	2	ハウス食品労働組合	3
株式会社サンセイランディック	1	岩瀬愛子	2
田中達人	1	下野恵子	2
点訳きつつき	1	匿名	2
株式会社日立ビルシステム マッチングギフトファンド	1	有限会社アグリバイオ21	1
古川京一	1	株式会社サンセイランディック	1
匿名	1	株式会社ニデック・株式会社ニデック有志	1
		株式会社日立ビルシステム マッチングギフトファンド	1
		山下実	1
		匿名	1
点字図書 合計 11 件	52 口	録音図書 合計 14 件	57 口
点字図書、録音図書 総計 109 口			

決算のあらまし

2018年4月1日から2019年3月31日

単位 (円)

事業活動による収支 (収入)	
障害福祉サービス事業収入	13,173,595
点字図書館事業収入	591,364,083
盲人用具販売事業収入	404,082,867
マンション経営事業収入	42,025,215
本部事業収入	5,346,300
経常経費寄附金収入	136,553,602
受取利息配当金収入	3,787,934
その他の収入	10,103,509
事業活動収入計 (1)	1,206,437,105
事業活動による収支 (支出)	
人件費支出 (法人負担分)	344,197,387
委託・補助金事業人件費支出	222,271,593
事業費支出	480,778,507
事務費支出	104,596,683
その他の支出	208,591
事業活動支出計 (2)	1,152,052,761
事業活動資金収支差額 (3=1-2)	54,384,344
施設整備等による収支 (収入)	
施設整備等補助金収入	3,000,000
施設整備等収入計 (4)	3,000,000
施設整備等による収支 (支出)	
設備資金借入金元金償還支出	7,382,950
固定資産取得支出	6,848,052
ファイナンス・リース債務の返済支出	1,305,320
施設整備等支出計 (5)	15,536,322
施設整備等資金収支差額 (6=4-5)	△ 12,536,322
その他の活動による収支 (収入)	
積立資産取崩収入	121,000,000
その他の活動による収入	691,253
その他の活動収入計 (7)	121,691,253
その他の活動による収支 (支出)	
積立資産支出	83,000,000
その他の活動による支出	3,789,000
その他の活動支出計 (8)	86,789,000
その他の活動資金収支差額 (9=7-8)	34,902,253
当期資金収支差額合計 (10=3+6+9)	76,750,275
前期末支払資金残高 (11)	47,905,921
当期末支払資金残高 (10+11)	124,656,196

日本点字図書館のあゆみ

1940（昭和15）年	全盲の青年 本間一夫が日本盲人図書館（現在の社会福祉法人日本点字図書館）を創立 蔵書700冊
1945（昭和20）年	戦災により本館焼失 貸出は疎開先で継続
1948（昭和23）年	焼け跡に仮建築で再出発 日本点字図書館に改称
1952（昭和27）年	社会福祉法人となる
1953（昭和28）年	本間一夫が朝日社会奉仕賞受賞
1954（昭和29）年	厚生省から点字図書製作事業の委託を受ける
1958（昭和33）年	声のライブラリー発足 テープ50巻、レコーダ1台
1960（昭和35）年	「中途失明者のための点字教室」を開始
1966（昭和41）年	視覚障害者用生活用具の開発と普及事業を開始
1976（昭和51）年	声の図書の「カセットテープ化」を開始
1989（平成元）年	厚生大臣特別表彰（身体障害者福祉功労団体）を受賞
1991（平成3）年	パソコン点訳者養成事業開始
1994（平成6）年	アジア盲人図書館協力事業開始
1996（平成8）年	専門対面リーディングサービス開始
1998（平成10）年	国費による新別館完成 皇后陛下ご臨席のもと新館披露の式典開催
1999（平成11）年	デジタル録音図書（CD図書）の製作・貸出開始
2003（平成15）年	本間一夫と日本点字図書館が、第10回井上靖文化賞を受賞 ロービジョンサポート事業開始 創立者本間一夫他界（享年87歳）
2004（平成16）年	録音図書ネットワーク配信サービス「びぶりおネット」開始
2005（平成17）年	ユニバーサルデザイン推進室（UDラボ）設置 録音図書ネットワーク製作システム（びぶりお工房）開始
2007（平成19）年	アジア太平洋障害者の10年の中間年記念 内閣総理大臣表彰受賞
2008（平成20）年	チャリティコンサートに皇后陛下のご臨席を賜る
2009（平成21）年	CD雑誌「にってんデイジーマガジン」創刊
2010（平成22）年	視覚障害者情報総合ネットワーク「サビエ」開始 「日点みんなの集い」に皇后陛下のご臨席を賜る
2011（平成23）年	カセットテープによる録音図書サービスを終了
2014（平成26）年	川崎市視覚障害者情報文化センターの管理運営開始
2015（平成27）年	塙保己一賞貢献賞受賞
2017（平成29）年	指定特定相談支援事業および自立訓練（機能訓練）事業を開始
2018（平成30）年	日本点字図書館付属池田輝子記念ふれる博物館開設

役 員

理事長	田中 徹二
常務理事	長岡 英司 館長
同	伊藤 宣真 本部長
理事	芦田 真吾 東京都医師国民健康保険組合事務局長
同	岡本 厚 (株)岩波書店代表取締役社長
同	河 幹夫 (社福)日本心身障害児協会理事長
同	田中 敏雄 (社福)東京都福祉事業協会理事長
同	立花 明彦 静岡県立大学短期大学部教授
同	花島 弘 (公財)ダスキン愛の輪基金評議員
同	三田 誠広 作家・(公社)日本文藝家協会副理事長
監事	野田 聖子 弁護士
同	福母 淳治 (公財)日本障害者リハビリテーション協会常務理事

評 議 員

新井 直弘	迫田 朋子	星川 安之	渡邊 岳
石橋 迪子	高橋 秀治	本間 一明	和波 孝禧
加藤真由美	富田 清邦	増渕 路子	
樽松 武男	福島 智	山岡 三治	

後援会長 阿刀田 高 (作家)



社会福祉法人 日本点字図書館

〒169-8586 東京都新宿区高田馬場1-23-4

電話 (03) 3209 - 0241 (代表) FAX (03) 3204 - 5641

ホームページ <https://www.nittento.or.jp/> Eメール nitten@nittento.or.jp

ゆうちょ銀行振替口座 一 般：00160 - 2 - 100288

取引銀行及び普通預金口座番号

みずほ銀行 高田馬場支店 普通 2855735

三井住友銀行 高田馬場支店 普通 92380

三菱UFJ銀行 高田馬場駅前支店 普通 167456

口座名：社会福祉法人 日本点字図書館 フリガナ：フク)ニッポンテンジトショカン

インターネットからもご寄付いただけます

で検索

(敬称は省略させていただきます)